

専 門 教 養
令和元年 7 月
60 分

受 験 教 科 等
養 護 教 諭

注 意

- 1 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 全て係員の指示に従って、静粛に受験してください。
- 3 机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
- 4 問題の音読等、他の受験者の迷惑になるような行為、携帯電話の使用及び不正行為をしてはいけません。
- 5 解答時間は60分です。途中退出はできません。
- 6 問題冊子のページ数は、23ページです。はじめにページ数を確かめてください。
- 7 解答用紙に**必要事項の記入やマークがない場合や誤っている場合には、解答は全て無効**となります。解答用紙の【1】の欄には、**受験番号を記入し、受験番号に対応する数字をマーク**してください。【2】の欄には、**氏名を記入**してください。ただし、【3】の選択問題を表す欄のマークは不要です。
- 8 問題冊子の余白等は、適宜使用しても構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 9 問題文中の「学習指導要領」は、特に指示がある場合を除いて、平成29年又は平成30年告示の「学習指導要領」を表しています。
- 10 問題の内容についての質問には一切応じません。

解答上の注意

- 1 解答は、問題文や解答用紙の注意事項に従って、解答欄にマークしてください。問題には、選択肢から選び解答する場合や、数字又は符号（-）を入れて問題文を完成させて解答する場合などがあり、解答方法が複数ある場合とどれか一つのみの場合とがあります。
- 2 「解答番号は 。」と表示のある問に対して、3と解答する場合には、次の（例1）のように解答番号 の解答欄の③にマークしてください。

(例 1)

解答番号	解答欄
<input type="text" value="1"/>	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

解答上の注意の続きを、問題冊子の裏表紙に記載してあります。問題冊子を裏返して必ず読んでください。

3 問題文中の 、 などの には、数字又は符号（-）が入ります。次の(1)~(4)の方法でマークしてください。

(1) 、、、……の一つ一つは、それぞれ1~9、0の数字又は符号（-）のいずれか一つに対応します。それらを 、、、……で示された解答欄にマークしてください。

例えば、 に -84 と解答する場合には、次の(例2)のようにマークします。

(例2)

解答番号	解答欄
<input type="text" value="2"/>	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
<input type="text" value="3"/>	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⑩ ⊖
<input type="text" value="4"/>	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

なお、同一の問題文中に 、 などが2度以上現れる場合、原則として、2度目以降は、、 のように細字で表記します。

(2) 分数形で解答する場合は、符号は分子に付け、分母に付けてはいけません。また、分数は既約分数で答えてください。

例えば、 $\frac{\text{56}}{\text{7}}$ に $-\frac{4}{5}$ と解答する場合には、 $\frac{-4}{5}$ として、次の(例3)のように

マークします。

(例3)

解答番号	解答欄
<input type="text" value="5"/>	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
<input type="text" value="6"/>	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
<input type="text" value="7"/>	① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

(3) 小数の形で解答する場合は、特に指示されていないければ、指定された桁数の一つ下の桁を四捨五入して答えてください。また、必要に応じて、指定された桁まで⑩にマークしてください。

例えば、 に 2.6 と解答する場合には、2.60 として答えてください。

(4) 根号を含む形で解答する場合は、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えてください。

4 「ただし、選んだ数字の小さい順にマークすること。解答番号は 、、。」と表示のある問に対して、2と5と8と解答する場合には、次の(例4)のように「②、⑤、⑧」の順にマークします。

このとき、「②、⑤、⑧」以外の「⑤、②、⑧」や「⑧、②、⑤」などの順にマークした場合には、不正解となります。

(例4)

解答番号	解答欄
<input type="text" value="11"/>	① ● ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
<input type="text" value="12"/>	① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
<input type="text" value="13"/>	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⑩ ⊖

1 法令及び学習指導要領に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 学校保健に関する記述として、法令に照らして適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は **1**。

- 1 校長は、翌学年の初めから小学校に就学させるべき者で、その学校に就学を希望する者について、就学时健康診断を行わなければならない。
- 2 学校医は、学校の環境衛生の維持及び改善に関し、学校薬剤師と協力して、必要な指導、助言及び措置を行うものとする。
- 3 学校薬剤師は、学校において使用する医薬品、毒物、劇物について、必要に応じ試験、検査又は鑑定、廃棄を行うものとする。
- 4 学校においては、定期健康診断を行ったときは、21日以内にその結果を、当該児童・生徒及びその保護者に通知するとともに、適切な措置をとらなければならない。

[問 2] 高等学校学習指導要領保健体育の「各科目」の「保健」の「内容」に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は **2**。

- 1 健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、早期治療が必要であること。
- 2 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現すること。
- 3 労働災害の防止には、職種又は労働環境の変化に起因する傷害を踏まえた適切な安全管理及び環境づくりをする必要があること。
- 4 医薬品は、有効性及び安全性が審査されており、販売には制限があること。疾病の予防や悪化の防止には、自己判断で医薬品を正しく使用することが望ましいこと。

2 救急処置に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次の事例を読んで、下の(1)、(2)の各問に答えよ。

小学校に勤務する養護教諭Aが、昼休み中に保健室にいたところ、児童Bが「先生、校庭のジャングルジムのところでけがをした子がいます。」と言って来室した。養護教諭Aは「教えてくれてありがとう。」と児童Bに言い、すぐに校庭のジャングルジムへ向かった。

校庭のジャングルジムの辺りはすでに人が集まっており、中心には口元を手で押さえながらうずくまっている5年生の児童Cと教員が数人いた。

養護教諭Aが、児童Cに「大丈夫。どうしたの。」と声をかけると、口元を手で押さえ泣きながら首を横に振るばかりで、様子が分からなかった。周りにいた教員に状況を聞くと、児童Cが同級生とジャングルジムの周囲を回りながら鬼ごっこをしていた際につまずいて、ジャングルジムの柱に勢いよく口の辺りをぶつけたことが分かった。

養護教諭Aは「痛いのにごめんね。ちょっとだけ口を見せてくれないかな。」と児童Cに問いかけると、少しうなずき、ゆっくりと口元の手をはずし、口を見せた。

口の中を見ると、前歯が1本なかった。辺りを見回すと脱落したと考えられる歯が1本落ちていた。そこで養護教諭Aは また、児童Cは歯肉より出血があったので、

保管した脱落歯を持って、医療機関に付き添って受診した。

医療機関へ付き添って受診する前に、養護教諭Aは管理職への報告を行い、児童Cの保護者にけがの状態や事故の状況を説明した。

(1) 児童Cの脱落歯の処置に関する記述として空欄 に当てはまる最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 汚れていた脱落歯の歯根膜をよく乾かしてから、保存液がなかったのでパック牛乳の中に入れて保管した。
- 2 汚れていた脱落歯にできるだけ触らないようにし、保存液がなかったので乾燥させた状態でビニール袋に入れて保管した。
- 3 汚れていた脱落歯を生理食塩水で軽く洗い流してから、保存液がなかったのでパック牛乳の中に入れて保管した。
- 4 汚れていた脱落歯を水道水で汚れをきれいに洗い流してから、保存液がなかったので清潔なガーゼに包み保管した。

(2) 児童Cの受診までの対応に関する記述として空欄 に当てはまる最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 ガーゼを出血部位に当て、ガーゼを噛んで止血を行わせながらすぐに
- 2 ガーゼを出血部位に当て、止血を行い1時間様子を見てから
- 3 一度うがいをさせてから、そのままの状態にしてすぐに
- 4 一度うがいをさせ、口の中を乾燥させないように水分を含ませながら

[問 2] やけどに関する次の(1)、(2)の各問に答えよ。

(1) 次の記述ア～エは、やけどの症状に関するものである。ア～エに対するやけどの深度として最も適切なものは、下の1～3のうちではどれか、それぞれ選び答えよ。解答番号はアが 、イが 、ウが 、エが 。

ア 真皮層の浅層まで損傷したやけど。発赤腫張した皮膚の上に水疱が生じ、疼痛が強く、痛みがとれるのに時間がかかる。通常1～2週間で表皮化し治癒する。

イ 表皮が損傷したやけど。皮膚の発赤とヒリヒリする痛みや灼熱感がある。疼痛は受傷後しばらくあるが、数日で治癒し、瘢痕を残さない。

ウ 皮下組織まで壊死が生じたやけど。皮膚は炭化か白くなり、末梢神経が損傷されると、疼痛はない。

エ 真皮層の深層まで損傷したやけど。発赤腫張した皮膚の上に水疱が生じ、疼痛が強い。治癒が長引き、治癒後も瘢痕と拘縮を残す。

1 I度

2 II度

3 III度

(2) 児童・生徒がやけどをした際の養護教諭の対応として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 家庭科の授業でエプロンを作成していた小学校6年生の児童が、仕上げ作業としてアイロンを使っていた際に、熱せられたアイロンを誤って倒し、自分の手から腕にかけてやけどを負った。すぐに、保健室で受傷部位の確認を行い、強い勢いの流水を受傷部位に直接当てながら痛みがなくなるまで30分以上続けて冷やした。
- 2 中学校3年生の生徒が硝酸の入っている瓶の蓋がしっかり閉まっていないことに気付かず、誤って倒した際に飛び散った硝酸が手の甲にかかり、やけどを負った。すぐに流水で薬品を十分に洗い流し、他に付着していないか確認して受傷部位をガーゼで保護した後、保護者に連絡を取り、かかってしまった薬品の瓶を持って病院を受診した。
- 3 理科の授業でアルコールランプを使用する実験をしていた小学校5年生の児童が、熱せられて間もない実験器具に素手で誤って触ってしまい保健室に来室した。すぐに受傷部位を確認したところ、水疱ができていたのですぐに破いて、洗面器に氷と水を入れたもので痛みがなくなるまで冷やした。
- 4 調理実習で高校2年生の生徒が、揚げ物をしていた。高い位置から勢いよく食品を油に入れたため、生徒の手に油が飛び跳ねやけどを負った。すぐに流水で痛みが軽くなるまで冷やし、その後冷やしたタオルの上から氷嚢で冷やし続けた。しばらくすると、症状が落ち着いたので、受傷部位に軟膏を塗り、経過観察をすることにした。

- [問 3] 次の事例の下線部①～④のうち、養護教諭の行った対応として**適切でないもの**は、A群の1～4のうちのどれか。また、下線部⑦の状態のときの対応として最も適切なものは、B群の1～4のうちではどれか。解答番号はA群が 、B群が 。

養護教諭Aが保健室にいたところ、高校2年生の生徒Bが「先生、クラスの子が3階のガラス窓に腕を突っ込んで、血を流している。」と駆け込んできた。すぐさま養護教諭Aが救急靴を持って現場に駆け付けたところ、生徒Cが、真っ青な顔をして座り込んでいた。生徒Cの左上腕には、割れたガラスの先端による深く大きな切傷がありダラダラと出血していた。養護教諭Aは、すぐに使い捨て手袋をはめ、持ってきた清潔なガーゼを傷口にあて、その上から手で直接強く圧迫した。生徒Bに「職員室の先生に連絡して車椅子をもってきて。」と頼み、生徒Cに腕を心臓より高く上げるよう指示した。車椅子到着後、生徒Cを車椅子に乗せ、1階の保健室まで移動した。傷口が深く、出血が止まりそうになかったため、生徒Cをベッドに横にして、並行して左腋窩部分を強く圧迫して止血を試みるとともに、保健室に来た管理職に報告し、救急車の要請をお願いした。

生徒Cは「気分が悪い。」と言いだし、冷や汗をかいていた。救急車を待つ間も、出血が止まらずガーゼにどんどん血が滲んできたので、養護教諭Aはその都度新しいガーゼに交換して、救急車の到着を待った。

【A群】

- 1 下線部①
- 2 下線部②
- 3 下線部③
- 4 下線部④

【B群】

- 1 頭を高くして寝かせる
- 2 保温のため毛布を掛ける
- 3 タオルで汗を拭き、着替えさせる
- 4 四肢をさすって刺激する

3 保健管理について次の各問に答えよ。

[問 1] 学校環境衛生に関する次の(1)、(2)の各問に答えよ。

(1) 次の教室等の環境に係る学校環境衛生基準に関する記述**ア～エ**のうち、「学校環境衛生基準」(文部科学省告示 平成30年3月)に照らして正しいものを選んだ組合せとして適切なものは、下の**1～6**のうちのどれか。解答番号は **12**。

ア 温度の基準として、17℃以上、28℃以下であることが望ましい。また、相対湿度は30%以上、90%以下であることが望ましい。

イ 換気の基準として、二酸化炭素は、1500ppm以下であることが望ましい。また、一酸化炭素は、10ppm以下であること。

ウ 騒音レベルの基準として、教室内の等価騒音レベルは、窓を閉じているときはLAeq 50dB以下、窓を開けているときはLAeq60dB以下であることが望ましい。

エ 照度の基準として、テレビやコンピュータ等の画面の垂直面照度は、100～500 lx程度が望ましい。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

- (2) 次の事例の下線部①～④のうち、「学校環境衛生基準」(文部科学省告示 平成30年3月)に照らして適切なものは、下の1～4のうちのどれか、二つ選び答えよ。ただし、選んだ数字の小さい順にマークすること。解答番号は 、 。

1 時間目から6 時間目まで水泳の指導が入っていた日、小学校に勤務する養護教諭Aは、1 時間目の授業開始前に、担当教諭Bと共にプールの水質等の点検を行ったところ、気温26℃、水温25℃、遊離残留塩素0.4mg/L、pH値7であった。また、担当教諭Bがプールの中に入り、水中で2 m離れた位置からプールの壁面が明確に見えることや危険物や異常なものがないことを確認した。

3 時間目の授業終了後に、その日2 回目の遊離残留塩素を測定した。しかし、基準値を満たしていなかったため、次亜塩素酸ナトリウム液を注入した。4 時間目の授業前に、再び遊離残留塩素を測定したところ、0.7mg/Lであったため、遊離残留塩素は適切と判断した。

- 1 下線部①
- 2 下線部②
- 3 下線部③
- 4 下線部④

〔問 2〕 次の記述①～④は、学校感染症と出席停止期間に関するものである。空欄 **ア**、**ウ**、**オ**、**キ** に当てはまる学校感染症の名称として最も適切なものは、A群の1～8のうちではどれか、それぞれ選び答えよ。また、文章中の空欄 **イ**、**エ**、**カ**、**ク** に当てはまる数字として適切なものは、B群の1～9のうちのどれか、それぞれ選び答えよ。ただし、曜日は考えないこととする。解答番号は**ア**が**15**、**イ**が**16**、**ウ**が**17**、**エ**が**18**、**オ**が**19**、**カ**が**20**、**キ**が**21**、**ク**が**22**。

- ① 生徒Aは、咳やくしゃみの症状があったが、その他の症状はなかった。しかし、2週間経っても連続して止まらない特有の咳が続いたため、5月8日に病院を受診し、**ア**と診断され、同日より抗菌薬療法を行った。特有の咳は、少しみられるものの、抗菌薬療法も終了したため、5月**イ**日には登校できる。
- ② 児童Bは、6月13日の朝に唾液腺が急に腫れ、痛みがあったので病院を受診したところ、ムンプスウイルスの感染が認められ、**ウ**と診断された。翌日には、微熱があり、体のだるさがみられた。6月16日には、全身状態が良好になったため、6月**エ**日には登校できる。
- ③ 児童Cは、7月10日に高熱と咽頭痛、食欲不振を訴えて学校を休んだ。翌日になっても症状が治まらなかったため、同日病院を受診したところ、アデノウイルスの感染が認められ、**オ**と診断された。病院受診日から4日目の7月14日に症状が治まった。そのため、7月**カ**日まで自宅療養し、翌日登校した。
- ④ 生徒Dは、1月5日に悪寒と頭痛、咳、倦怠感があった。翌日になり、急に高熱が出て筋肉痛の症状もあったので、同日病院を受診したところ**キ**と診断され、ザナミビルを処方された。薬を服用し、1月10日に解熱したため、1月**ク**日まで自宅療養し、翌日登校した。

【A群】

- 1 風しん
- 2 髄膜炎菌性髄膜炎
- 3 流行性耳下腺炎
- 4 インフルエンザ（特定鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く）
- 5 水痘
- 6 咽頭結膜熱
- 7 百日咳
- 8 麻しん

【B群】

- | | | | | | | | | | |
|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|
| 1 | 12 | 2 | 13 | 3 | 14 | 4 | 15 | 5 | 16 |
| 6 | 17 | 7 | 18 | 8 | 19 | 9 | 20 | | |

[問 3] 次の独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付に関する記述**ア**～**エ**のうち、正しいものを選んだ組合せとして適切なものは、下の**1**～**6**のうちのどれか。解答番号は 。

ア 学校の敷地内であっても授業が終わった放課後は、学校が編成した教育課程に基づく授業や学校の教育計画に基づく課外指導を受けている場合ではないため、災害共済給付の対象となる学校の管理下の範囲に含まれない。

イ 児童が、自己の故意により死亡したときは、給付を行わない。ただし、当該児童が、いじめ、体罰その他の当該児童の責めに帰することができない事由により生じた強い心理的な負担により、故意に死亡したときについては、この限りではない。

ウ 学校の寄宿舎にあるときや学校外で授業等が行われるとき、その場所、集合・解散場所と住居・寄宿舎との間の合理的な経路、方法による往復中は、災害共済給付の対象となる学校の管理下の範囲に含まれる。

エ へき地にある学校の管理下における児童・生徒の災害に対し、通院日数に応じ一日当たり定額1,000円の通院費を支給する。また、学校の管理下における死亡で損害賠償を受けたこと等により死亡見舞金が支給されないものに対し、17万円の供花料を支給する。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

4

からだの仕組みや疾病等に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 眼に関する次の(1)、(2)、(3)の各問に答えよ。

(1) 次の図は、眼球の構造を模式的に表わしたものである。この図中のア～エの器官の名称の組合せとして適切なものは、下の1～9のうちどれか。解答番号は 24 。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

- | | | | | | | | | |
|---|---|-----|---|----|---|----|---|-----|
| 1 | ア | 硝子体 | イ | 角膜 | ウ | 瞳孔 | エ | 水晶体 |
| 2 | ア | 硝子体 | イ | 網膜 | ウ | 虹彩 | エ | 毛様体 |
| 3 | ア | 硝子体 | イ | 網膜 | ウ | 角膜 | エ | 水晶体 |
| 4 | ア | 水晶体 | イ | 角膜 | ウ | 虹彩 | エ | 毛様体 |
| 5 | ア | 水晶体 | イ | 虹彩 | ウ | 角膜 | エ | 毛様体 |
| 6 | ア | 水晶体 | イ | 網膜 | ウ | 虹彩 | エ | 硝子体 |
| 7 | ア | 毛様体 | イ | 角膜 | ウ | 瞳孔 | エ | 硝子体 |
| 8 | ア | 毛様体 | イ | 虹彩 | ウ | 瞳孔 | エ | 水晶体 |
| 9 | ア | 毛様体 | イ | 虹彩 | ウ | 角膜 | エ | 硝子体 |

(2) 次の文章は、屈折異常及び調節異常に関するものである。空欄 **ア** ~ **オ** に当てはまるものとして適切なものは、下の 1 ~ 9 のうちのどれか、それぞれ選び答えよ。解答番号は**ア**が **25**、**イ**が **26**、**ウ**が **27**、**エ**が **28**、**オ**が **29**。

近視は、無調整状態で平行光線が、網膜の **ア** で焦点を結ぶ状態である。眼軸が **イ** か、角膜や水晶体などの屈折力が **ウ** 生じる。近視は **エ** 矯正される。
乱視は、無調整状態で平行光線が、網膜の 1 点に像を結ばない状態である。乱視には、正乱視と不正乱視があり、正乱視は **オ** 矯正される。

- 1 短い
- 2 長い
- 3 凸レンズで
- 4 凹レンズで
- 5 円柱レンズで
- 6 弱くて
- 7 強くて
- 8 前
- 9 後ろ

(3) 色覚検査・色覚異常に関する記述として「児童生徒等の健康診断マニュアル 平成27年度改訂」(公益財団法人 日本学校保健会 平成27年8月)に照らして適切なものは、次の1～5のうちのどれか、二つ選び答えよ。ただし、選んだ数字の小さい順にマークすること。解答番号は 、 。

- 1 網膜に赤色、緑色、青色のそれぞれの色に反応するかん体細胞があり、先天色覚異常は問題となるかん体の種類によって1型色覚、2型色覚、3型色覚がある。
- 2 「石原色覚検査表Ⅱコンサイズ版(14表)」では、第1表から第8表及び第14表から第11表の計12表のうち誤読が1表でもあれば「色覚異常の疑い」とする。
- 3 異常3色覚のうち1型3色覚は赤色弱のことで、1型色覚では赤を暗く感じるため、観察条件が悪いと赤と黒や、ピンクと水色が見分けにくいことがある。
- 4 学校での色覚検査は、医学的に認められている色覚検査表を使用するため、スクリーニングであっても色覚異常を診断することができる。
- 5 学校での色覚検査は、児童・生徒等が自身の色覚の特性を知らないまま進学・就職等で不利益を受けることがないように、希望者を対象として個別に検査を行う。

[問 2] 次の事例を読んで、下の(1)、(2)の各問に答えよ。

授業中に高校2年生の生徒Aが、「先生、Bさんが授業中に急に倒れたので、すぐに来てください。」と言って保健室に来室した。養護教諭Cはすぐに生徒Aとともに教室に向かった。教室へ移動しながら、養護教諭Cは生徒Bが倒れた様子や時間などについて、生徒Aから聞き取りを行った。

教室へ行くと、生徒Bは、机と机の間に倒れていて、呼吸はしているが意識はなく、小刻みに体を震わせていた。授業担当教諭Dは他の生徒に職員室にいる先生を呼びに行くように指示を出しながら、生徒Bの様子を見守っていた。

養護教諭Cは、授業担当教諭Dに「この状態になってからどれくらい時間が経ちますか。Bさんはどこかにぶついたり、出血したりしていませんか。」と聞くと「この状態になって3分程経ちます。後ろに倒れたようですが、後ろの席の生徒がとっさに支えたため、どこにもぶつけてもいないし、出血もありません。」と授業担当教諭Dは答えた。

養護教諭Cは、現在の状況と生徒Bにはてんかんの既往があるということから、てんかん発作時の対応を行った。

(1) 生徒Bへの対応として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は

。

- 1 けいれんして意識を失っているので、危険な物を遠ざけて本人がけがをしないようにした後に、大声を掛け、身体を揺らすなどして早く意識が戻るようにする。
- 2 自動症の場合、思わぬけがをするおそれがあるので、本人が抵抗しても行動を制限して意識が回復するのを待つ。
- 3 発作時に窒息や舌をかまないように、口の中にハンカチや指などを入れる。発作直後は意識がはっきりしなくても水や薬を飲ませ、早く回復させる。
- 4 本人がけがをしないようにした後、発作が起きた時間と状況、意識障害の有無、けいれんの有無と状態、発作の継続時間、身体の変化、発作後の様子などを観察、記録する。

(2) てんかん発作の特徴についての記述ア～エと発作の名称A～Dとの組合せとして最も適切なものは、下の1～8のうちではどれか。解答番号は 33。

- ア** 意識が消失し筋が固くなるのに引き続き、筋が収縮・弛緩を繰り返すことにより、四肢がガタガタと震える。発作後は弛緩し、睡眠又はもうろう状態となることが多い。
- イ** 発作中の意識は保たれている。大脳半球の局所的な過剰興奮により、焦点部位に応じて手足の一部のけいれんや視覚発作など様々な症状を呈する。
- ウ** 発作中の意識は消失している。側頭葉から前頭葉にかけての局所的な過剰興奮によることが多く、自動症がみられる。
- エ** 突然の意識消失が10秒程持続し活動を中止するが、すぐに元の状態に戻り活動を再開させる。見過ごされやすい。

- A 複雑部分発作
B 欠神発作
C 単純部分発作
D 強直間代発作

- | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|
| 1 | ア-A | イ-C | ウ-B | エ-D |
| 2 | ア-A | イ-D | ウ-C | エ-B |
| 3 | ア-B | イ-C | ウ-D | エ-A |
| 4 | ア-B | イ-D | ウ-A | エ-C |
| 5 | ア-C | イ-A | ウ-B | エ-D |
| 6 | ア-C | イ-B | ウ-D | エ-A |
| 7 | ア-D | イ-B | ウ-A | エ-C |
| 8 | ア-D | イ-C | ウ-A | エ-B |

[問 3] バイタルサインに関する次の(1)、(2)の各問に答えよ。

(1) この問題は不成立のため、掲載いたしません。

(2) バイタルサインの説明として適切なものは、次の**1**～**4**のうちのどれか。解答番号は

36。

- 1 体温は1日の中での生理的変動があり、午前5～6時が最も低く、午後3～6時が最も高い。変動の幅には個人差は少なく、1.5℃程度の差がある。
- 2 体温には自律神経の緊張度によって個人差があり、交感神経の緊張度の強い人は高く、副交感神経の緊張度の強い人は低い傾向がある。
- 3 1分間の脈拍数が100以上の場合を頻脈といい、貧血や出血後、甲状腺機能亢進症、頭蓋内圧亢進症などの場合にみられる。
- 4 チェーンストークス呼吸は、1回の呼吸がゆっくりで深く大きく、連続して起こり、糖尿病性昏睡など代謝性障害の際にみられる。

5 今日的な教育課題に関する次の各問に答えよ。

[問 1] がんに関する次の(1)、(2)の各問に答えよ。

- (1) 次の文章の下線部①～③のうち、「学校におけるがん教育の在り方について（報告）」（文部科学省「がん教育」の在り方に関する検討会 平成27年3月）に照らして適切なものには○を、適切でないものには⊖をそれぞれマークせよ。解答番号は下線部①が 、下線部②が 、下線部③が 。

文部科学省は、「学校におけるがん教育の在り方について（報告）」の中で、「学校における健康教育においてがんを取り上げた教育を推進することは健康教育を推進する上で意義のあることであると考えられる。」と示した。

がん教育の実施に当たっては、がん教育が健康教育の一環として行われることから、がんに関する科学的根拠に基づいた理解については、小学校・中学校・高等学校において取り扱うことが望ましいと考えられる。① また、健康や命の大切さの認識については、それぞれの校種で発達の段階を踏まえた内容での指導が考えられる。

がんに関する科学的根拠に基づいた知識などの専門的な内容を含むがん教育を進めるに当たっては、地域や学校の実情に応じて、学校医やがんの専門医等の外部講師の参加・協力を推進するなど、多様な指導方法の工夫を行うよう配慮する。②

がん教育の評価には、教育効果を確認するための児童・生徒を対象とする評価、事業の適切さを確認するための学校や教育委員会あるいは事業の企画や実施等を対象とする評価の二つの評価が必要である。③

(2) がんに関する記述として、「がん教育推進のための教材」(文部科学省 平成28年4月 平成29年6月一部改訂)に照らして最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 がん治療の三つの柱として、手術療法、放射線療法、化学療法が挙げられる。がん治療においてインフォームド・コンセントは重要であり、医師が十分な説明をした上で、患者の同意に基づいて治療方針が決定される。
- 2 がんの罹患率は、年齢が上がるにつれて増加する。生涯では、性別で見ると、女性の方が男性より多くなっていて、乳がんと子宮頸がんが多いことが主な原因と考えられている。
- 3 がんにかかる原因は、生活習慣、細菌・ウイルス感染、遺伝素因のうちどれか一つが、原因となっている。また、がんの種類によって差はあるが、多くのがんは早期に発見されても死亡率に変化はない。
- 4 国が推奨しているがん検診は、胃がん検診、肺がん検診、乳がん検診の三つである。そのうち肺がん検診の対象年齢は、20歳以上であり、受診間隔は2年に1回となっている。

〔問 2〕 次の事例を読んで、下の(1)、(2)の各問に答えよ。

中学校2年生の生徒Aは、最近保健室の来室回数が増えていたので、養護教諭Bは何かあったのではないかと気になっていた。

今日も生徒Aが保健室を訪れ、腹痛を訴えたので、問診や体温測定をしていたところ、「教室に行きたくない。」と言い出した。

養護教諭Bは、「何かあったのかな。」とさりげなく聞いたが、「とくに…。」と言っただけで、うつむいていた。しばらく保健室で休んでいたが、「今日はもう無理。」と言うので、担任に状況を伝え、早退することとなった。

生徒Aは翌日も朝から保健室に来て「無理。教室には行けない。」と言い、保健室で過ごした。そのとき、クラスの友達とちょっとしたトラブルがあって、それから孤立することが多くなり、教室に行きづらくなったことを、養護教諭Bに打ち明けた。

養護教諭Bは担任に状況を伝えたが、生徒Aは、「クラスの友達が自分の悪口を言っているような気がして怖い…。」と言い、それ以降教室に入れず、朝早く登校してそのまま1日保健室で過ごす日々が始まった。

(1) 生徒Aに対する養護教諭Bの今後の対応に関する記述として、「教職員のための子どもの健康相談及び保健指導の手引」(文部科学省 平成23年8月)に照らして、最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 教室復帰のためには問題解決が必要と考え、クラスの友達とのトラブルについて詳細を聞き取ったところ、生徒Aに原因があったと判断し、「それはあなたの方が悪いと思う。悪口も実際に言われているかどうかは分からないよね。教室に戻りたいなら素直に謝りに行こう。」と、強引に手を引いて教室まで連れて行った。
- 2 保健室で過ごすうち、生徒Aの情緒が安定し、少しずつ元気が出て、保健室へ来室する他の生徒と会話ができるようになってきたが、教室復帰は慎重に判断すべきであるため、生徒Aが、「もう教室に戻れそう。」と言っても、しばらくは保健室で過ごさせた。
- 3 「それはつらいよね、教室に行けないのも無理ないよね。」と言って生徒Aの気持ちを受け止めつつ、教室には行けないが、保健室になら行けるということを本人に確認し、「先生方や家の人とも相談して、今後どうしていくのがよいか、一緒に考えていこう。」と伝えた。
- 4 教室に復帰できるかどうかは、本人の気持ち次第であるから、急かしたり焦らせたりせず、時間が経てば気持ちも落ち着くだろうと考え、「無理しないで、いつでも来ていいからね。」と言い、支援計画の作成や役割分担を行わず、本人の気持ちが変わるまでそのまま過ごさせた。

(2) 保健室登校者への支援に関する記述として、「教職員のための子どもの健康相談及び保健指導の手引」(文部科学省 平成23年8月)に照らして最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 保健室登校の長期化は好ましくないが、本人の意思や気持ちを尊重することが一番重要であるため、意思や気持ちが変わるまでは、指導方法の再検討は行わないようにすることが大切である。
- 2 保健室登校は、その背景に複雑な対人関係や家庭環境、本人の情緒的混乱等が関わっていることが多いため、担任及び養護教諭以外の教員は支援に関わらないことが大切である。
- 3 保健室登校をしている過程で、特定の教科に限り「行ける。」と言い出しても、他の生徒から理解を得られないので、全ての教科に出られるようになるまで、保健室で過ごさせることが大切である。
- 4 保健室登校では、本人への支援とともに、保護者との連携も重要である。保護者が保健室登校を理解しており、協力が得られるか、受け入れに当たって事前に十分確認しておくことが大切である。

31 (32採用) 【 養護教諭 】

問題番号			解答番号	正答1	正答2	正答3	配点	備考
大問番号	小問番号							
1	1		1	4			2	
	2		2	2			2	
2	1	(1)	3	3			3	
		(2)	4	1			3	
	2	(1)ア	5	2			2	
		イ	6	1			2	
		ウ	7	3			2	
		エ	8	2			2	
		(2)	9	2			3	
	3	A	10	4			3	
		B	11	2			3	
3	1	(1)	12	5			3	
		(2)	13	1			4	完全解答
			14	4				完全解答
	2	ア	15	7			3	完全解答
		イ	16	2				完全解答
		ウ	17	3			3	完全解答
		エ	18	8				完全解答
		オ	19	6			3	完全解答
		カ	20	5				完全解答
		キ	21	4			3	完全解答
		ク	22	1				完全解答
	3		23	6			3	
4	1	(1)	24	4			3	
		(2)ア	25	8			2	
		イ	26	2			2	
		ウ	27	7			2	
		エ	28	4			2	
		オ	29	5			2	
		(3)	30	3			6	完全解答
			31	5				完全解答
	2	(1)	32	4			3	
		(2)	33	8			3	
	3	(1)	34				6	全受験者に 得点を与える。
			35					
		(2)	36	2			2	
5	1	(1)	37	-			3	
			38	1			3	
			39	1			3	
		(2)	40	1			3	
	2	(1)	41	3			3	
		(2)	42	4			3	